

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		学校給食センター建替え事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局 教育部	課長名 中島 正剛
	施策	19	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 西川 正則
	基本事業	66	教育施設の整備		所属班	学校給食班	(内線) 248-2102
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	学校給食法
	1	10	6	3	11460		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 ~ 23 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・築30年以上が経過し、施設や厨房機器が老朽化したので、より衛生的(ドライシステム)で効率的な給食センター(3500食)への建替え。 ・築30年以上を経過した給食センターは施設・設備共に老朽化し、安全・衛生面、効率性などに問題がある。また、空調設備が不備のため、夏場は高温多湿状態となり、作業効率や職員の健康面からも労働環境の改善が必要である。 ・ドライシステムと最新の厨房機器・調理器具の導入により、「学校給食衛生管理基準」(文科省)に限りなく近づき、児童生徒により安全・安心な給食の提供ができる。
【業務の流れ】	22年度 設計委託 23年度 施行監理委託、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、厨房機器設置 24年4月開設
【主な予算費目】	22年度 基本設計、実施設計 23年度 施行監理委託、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、厨房機器設置 ・委託料、工事請負費、備品購入費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成21年3月議会で「学校給食の運営に関する決議」が議決され、その項目のひとつに「給食センターの早急な建替え」がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 基本設計・実施設計 国庫補助申請
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) (単位)
⇒ ア 事業進捗率	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・給食センター、・児童生徒、・センター職員	⇒ ア 児童生徒数、センター職員数 人 イ 施設面積 m ²
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
より安全で衛生的な施設となり、さらに安全安心な給食の提供ができる。安心して働ける環境になる。	⇒ ア 調理機器等の故障件数 件 イ 異物混入件数 件
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア						20	80	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人					2,320	2,320	
	イ	m ²					1,920	1,920	
⑥ 成果指標	ア	件					2	2	
	イ	件					1	1	
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円					81,251	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円					911,700	
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円					28,720	19,269
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	28,720	1,012,220	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人					2	2	
	延べ業務時間	時間					240	960	
	(B)人件費計	千円	0	0	0	0	955	3,821	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	29,675	1,016,041	0

総トータルコスト 全体計画	
22 ~ 23 年度	81,251
(期間限定複数年度のみ記載)	911,700
	47,989
	1,040,940
	4
	1,200
	4,776
	1,045,716

合志市

事務事業名	学校給食センター建替え事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策